

南北線沿線まちづくりプラン

地下鉄沿線まちづくりプランの推進プラン

概要版

地下鉄がつなぐ“せんだい 彩杜”

～十字の都市軸が織りなす、杜の都の多彩なライフスタイル～

令和5年3月 仙台市

目次

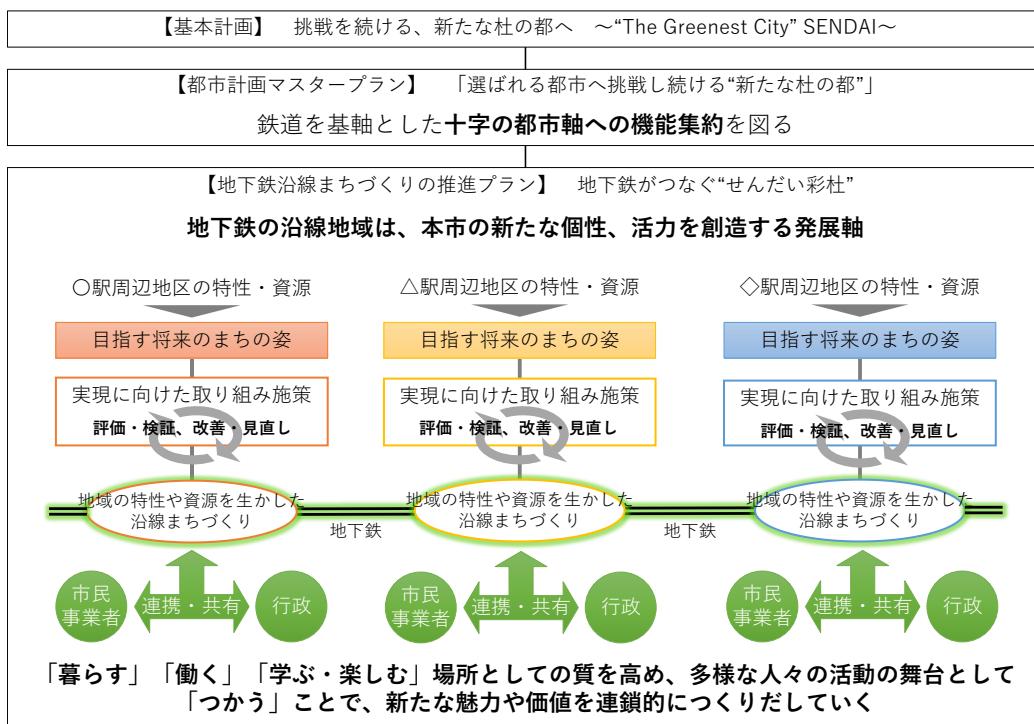
第1章 南北線沿線まちづくりプランについて	1
第2章 将来のまちの姿と取り組み施策	1
1 基本的な考え方	1
2 沿線の交流を促進する取り組み施策（連携施策）	1
3 地区ごとの将来のまちの姿と取り組み施策	3
共通の取り組み	3
泉中央地区（広域拠点）	4
八乙女駅周辺地区	5
黒松・旭ヶ丘・台原駅周辺地区	6
北仙台駅周辺地区	7
都心地区	8
愛宕橋・河原町駅周辺地区	9
長町地区（広域拠点）	10
富沢駅周辺地区	11

第1章 南北線沿線まちづくりプランについて

本市は1999（平成11）年に都市計画の方針を策定して以来、拡大型の市街地形成からの転換を図り、鉄道を基軸とした機能集約型の都市づくりを進めているところですが、開業から35年が経過し成熟した市街地が形成されている南北線の沿線においては、老朽化した建物や未利用地などが見受けられ、既成市街地の機能強化や新たな賑わい創出を図ることが重要です。

本プランでは、2022（令和4）年3月に策定した「地下鉄沿線まちづくりの推進プラン」のもと、南北線沿線の地域の皆さまと目指す将来のまちの姿やその実現に向けた取り組み施策を共有するとともに、地域それぞれの特性や資源を生かした沿線のまちづくりの取り組みを連携して進めるため、南北線沿線におけるそれぞれの目指す将来のまちの姿やその実現に向けた取り組み施策を示します。

なお、本プランに示す都心地区は、南北線沿線（北四番丁駅～五橋駅）と東西線沿線（大町西公園駅～宮城野通駅）を一体的に捉えたエリアとしています。



第2章 将来のまちの姿と取り組み施策

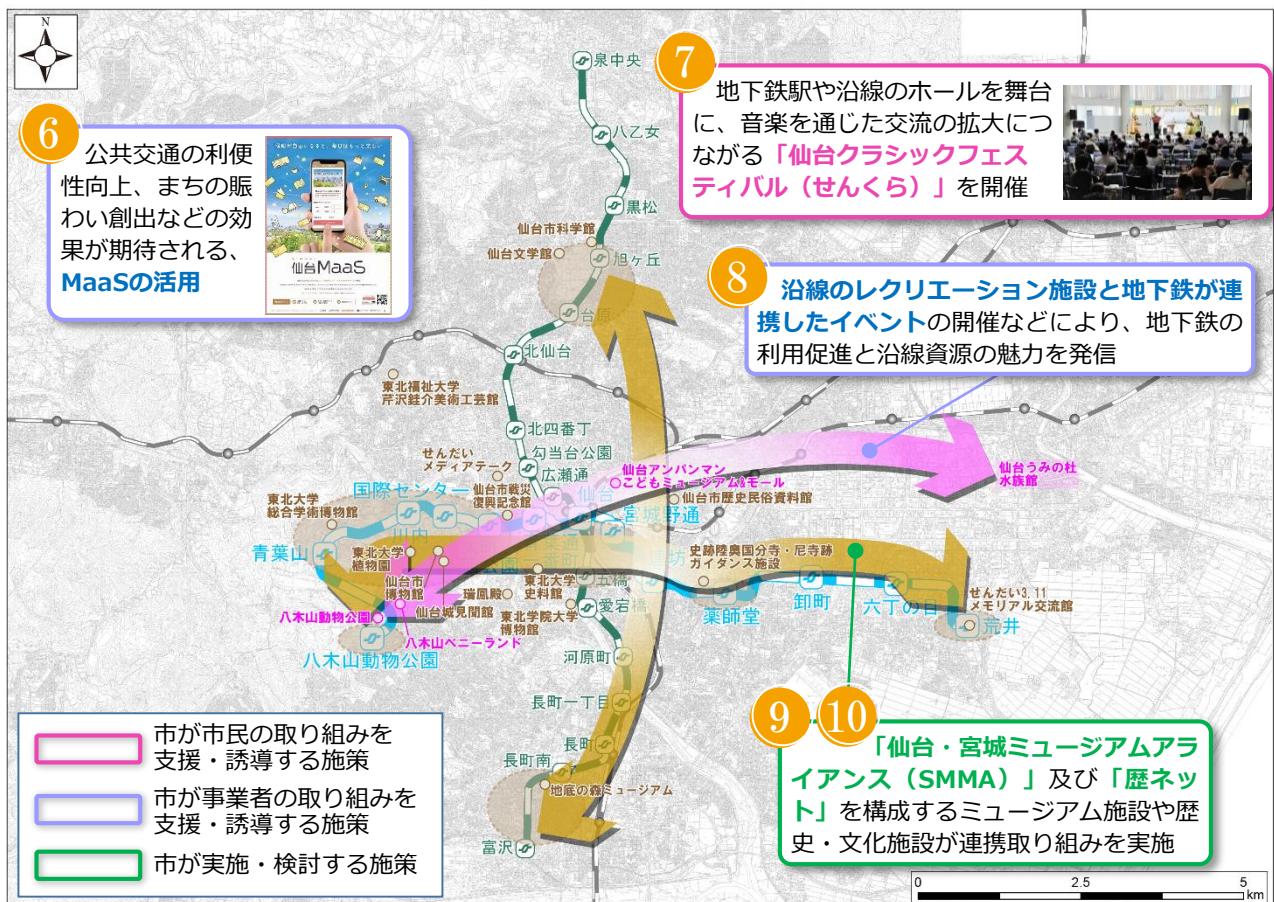
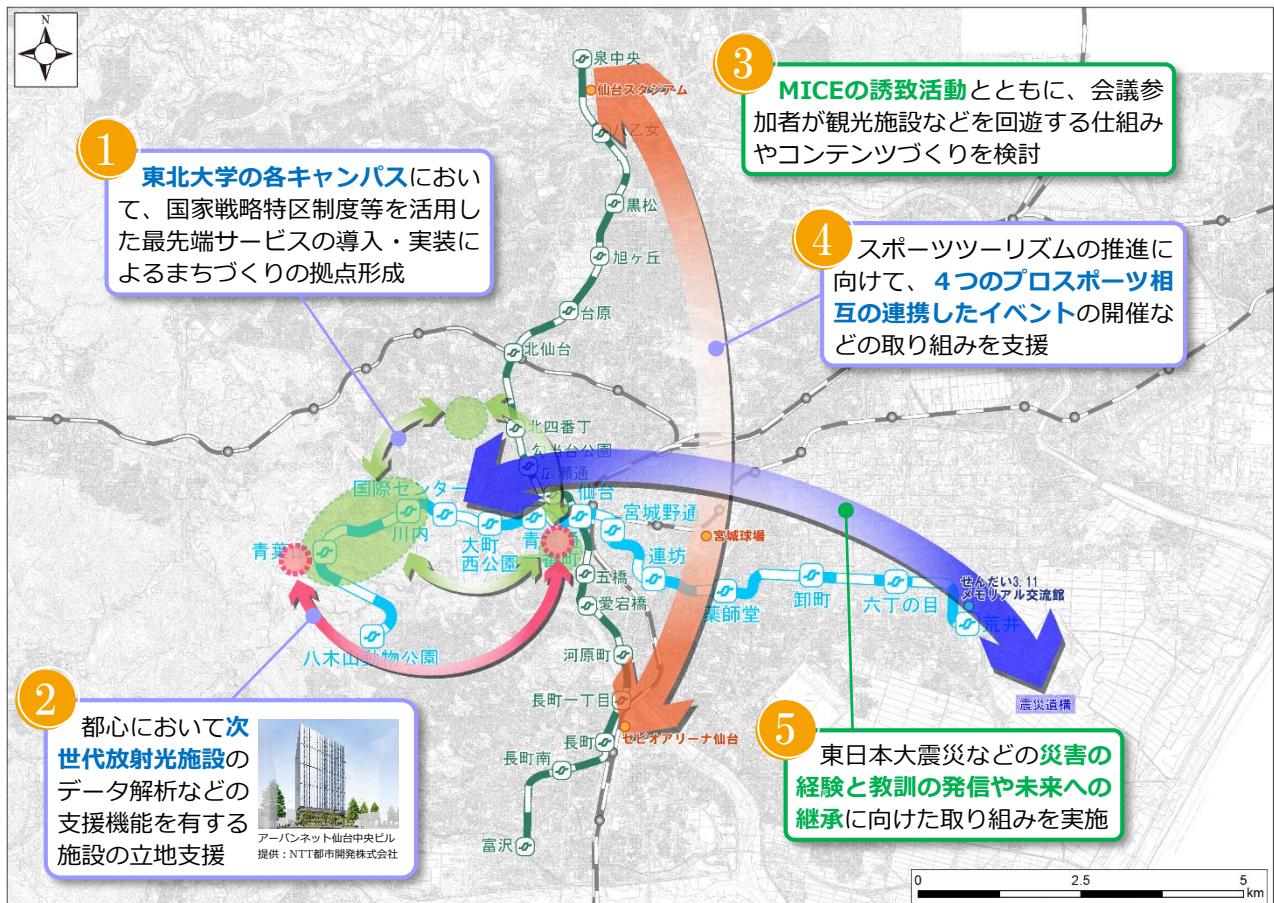
1 基本的な考え方

地域特性などから設定した地区ごとに、現状や地域で活動するまちづくり団体等の意見などを踏まえた長期的なまちの姿のほか、地域主体のまちづくりや民間開発が着実に進むよう、目標時期を定めた取り組み施策を示します。

2 沿線の交流を促進する取り組み施策（連携施策）

東西線のみならず、南北線も含めた「都市軸」の創造に向け、「駅と駅」、「まちとまち」をつなぎ、連携した取り組みによって沿線の魅力や価値を高め、新たな交流を促進していきます。

■沿線の交流を促進する取り組み施策



3 地区ごとの将来のまちの姿と取り組み施策

■ 共通の取り組み

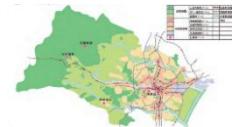
駅周辺にふさわしい土地利用や施設立地が図られるよう、土地所有者等への働きかけを行うとともに、**市街地再開発事業**や**優良建築物等整備事業**などを支援



地域特性に応じて暮らしに必要な生活サービス施設（スーパー、飲食店、医療施設など）を誘導するなど、**土地利用のあり方**について検討



仙台市『杜の都』景観計画に基づき、良好な景観を形成



駅周辺における回遊性の向上を図るため、**コミュニティサイクルの拡充**について検討



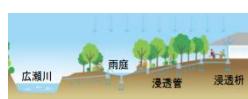
住民の移動手段が確保されるよう、**地域のニーズに合った地域交通導入**について、検討段階における専門家の派遣や運行維持への支援



地域主体のまちづくりの機運醸成に向けた働きかけを行うとともに、**まちづくり支援専門家派遣制度**の活用などにより支援



公園や道路で透水性舗装や雨庭を整備するなど、**みどりが有する雨水の貯留・浸透機能**をこれまで以上に活用



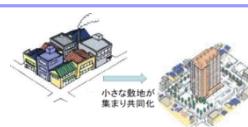
学校関係者、宮城県警察、仙台市が一体となった**通学路の合同点検**を実施し、交通安全対策を進める



土地所有者や事業者が**都市計画提案制度**や**地下鉄沿線まちづくりに係る都市計画提案制度**など各種制度の活用に向けた周知・支援



既存住宅地において居住環境の改善や防災性の向上が図られるよう、建築更新の相談時などにおいて**共同建て替え**などを誘導



「共助」の取り組みの推進を図るため、地域防災の担い手となる**仙台市地域防災リーダー（SBL）**の養成や活動を支援



地理院地図をもとに仙台市で加工・編集

泉中央地区 (広域拠点)

将来のまちの姿

住み、働き、楽しみ、
多くの人の出会いと
交流が広がる、
深化したまち

駅周辺に集積する多様な都市機能の連携により、市内外から多くの人が行き交う自然豊かな本市北部の拠点としての魅力をより一層高めていくことによって、人と人、人とまちの出会いが広がり、緑の潤いにあふれるまちの形成を目指します。



〔取り組み施策〕

1

区役所建て替えによる
賑わい・交流の創出

6

7

駅周辺にふさわしい土地
利用や施設立地の誘導

9

10

11
地域の活性化

12

地域コミュニティの維持・活性化

15

16

17
災害に強い地域づくり

18

安全安心な交通環境づくり

19

20

誰もが移動しやすい環境づくり

2

3

4

5

広域拠点の機能向上

8

集客交流軸の深化・創出

13

14

質の高い緑化の誘導

21

22

子育てしやすい環境づくり

施策 ① ~ ②2 の内容については本編をご覧ください。

八乙女駅

周辺地区

将来のまちの姿

交通利便性を生かした、
暮らしやすく、
賑わいに満ちたまち

交通の要衝としての交通基盤を生かしながら、駅前地区を中心とした土地の有効活用による住宅・商業機能の誘導や地域の活性化などに取り組むことにより、暮らしやすく、通勤・通学者で賑わうまちの形成を目指します。



取り組み施策

駅周辺にふさわしい 土地利用や施設立地の誘導

1 繼続

駅周辺の低密度利用となっている地区において、土地所有者等への働きかけや各種制度を活用した支援などにより、駅前にふさわしい施設立地を誘導

2 繼続

駅南側の事業所の移転跡地においては、土地所有者等への働きかけや各種制度を活用した支援などにより、駅前にふさわしい商業機能等を誘導

地域コミュニティの維持・活性化

3 繼続

真美沢公園を活用した地域団体による取り組みを支援

4 繼続

道路空間を活用し地域や企業、学校などが連携して行う取り組みを支援

5 繼続

仙台まちづくり八乙女記念基金を活用した助成により、地域住民のまちづくりの取り組みを支援

災害に強い地域づくり

6 繼続

仙台防災ハザードマップやくらしのマップ、住民説明会の場などを活用し、防災情報を普及啓発

7 繼続

宅地擁壁の専門家派遣制度や安全対策工事に係る助成金制度により、老朽化した宅地擁壁の作り替えを支援

※宅地擁壁の支援制度は地下鉄沿線以外の地域でも活用できます。詳しくは市ホームページなどでご確認ください。



乗り継ぎ利便性の向上

8 中期

八乙女駅へのアクセス路線となるバス路線（フィーダー区間）において、乗り継ぎやすいダイヤ設定や鉄道と路線バスの乗り換えに関する情報提供の向上などを実施

安全安心な交通環境づくり

9 繼続

駅につながる県道仙台泉線において、自転車通行空間を整備を検討

公共交通の利用促進

10 繼続

大学生の公共交通の利用を促進するため、通学に便利な大学周辺の交通情報マップを提供



市が市民の取り組みを支援・誘導する施策
市が事業者の取り組みを支援・誘導する施策
市が実施・検討する施策

5



2023（令和5）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
2026（令和8）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
2030（令和12）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
計画期間中、継続して取り組む施策

黒松・旭ヶ丘・台原駅周辺地区

周辺地区

将来のまちの姿

身边に自然を感じながら、暮らしやすく、学び・楽しめる魅力を持ったまち

台原森林公園や真美沢公園が立地する緑豊かな住宅団地において、良好な居住環境の維持・改善を図るとともに、高齢者をはじめとした居住者が安心して暮らせる環境づくりや、地域資源の魅力や価値を向上する取り組みを進めることで、誰もが安全・安心に暮らし、学び・楽しめる魅力的なまちの形成を目指します。



適切な都市機能の誘導

1 繼続

(仮称)旭ヶ丘市民センター別棟と(仮称)青葉障害者福祉センターとの複合施設を整備

地域の活性化

4 繼続

豊かな自然を生かし様々な活動ができるよう、台原森林公園の施設を適切に管理

商店街の活性化

5 繼続

商店街が主体となったイベントなどの取り組みを支援

公共交通の利用促進

8 繼続

大学生の公共交通の利用を促進するため、通学に便利な大学周辺の交通情報マップを提供

地域資源の魅力・価値向上

9 繼続

仙台文学館において作品や関連資料の収集・保存、調査研究や展示などの活動を継続

10 中期

防災・減災教育の充実も図りながら、仙台市科学館の展示リニューアル工事を実施

子育てしやすい環境づくり

13 中期

子どもたちが安心・安全に学ぶことができる良好な教育環境をつくるため、黒松小学校の増改築工事を実施

取り組み施策

高齢者が暮らしやすい環境づくり

3 中期

黒松市民センターについて、施設の長寿寿命化に向けた大規模修繕を実施

地域コミュニティの維持・活性化

6 繼続

一戸建ての持ち家を取得した若年・子育て世帯に対する助成金の交付等により、子育てしやすい良好な住宅への住み替えを支援

※若干年・子育て世帯住み替え支援事業は地下鉄沿線以外の地域でも活用できます。詳しくは市ホームページなどでご確認ください。

乗り継ぎ利便性の向上

7 中期

旭ヶ丘駅や台原駅へのアクセス路線となるバス路線(フィーダー区間)において、乗り継ぎしやすいダイヤ設定や鉄道と路線バスの乗り換えに関する情報提供の向上などを実施

災害に強い地域づくり

11 繼続

宅地擁壁の専門家派遣制度や安全対策工事に係る助成金制度により、老朽化した宅地擁壁の作り替えを支援

※宅地擁壁の支援制度(専門家派遣制度・安全対策工事に係る助成金制度)は地下鉄沿線以外の地域でも活用できます。詳しくは市ホームページなどでご確認ください。

12 繼続

都市計画道路宮沢根白石線について、無電柱化を推進



市が市民の取り組みを支援・誘導する施策



市が事業者の取り組みを支援・誘導する施策



市が実施・検討する施策

北仙台駅

周辺地区

将来のまちの姿

ノスタルジックな風情
と利便性を兼ね備えた、
個性あるまち

昭和の風情を感じる商店街や多くの社寺など、豊かな地域資源との調和を図りながら都市環境を維持・改善するとともに、JR駅を有する充実した交通基盤や都心に近い利便性を生かしていくことで、駅を中心に便利で暮らしやすく、個性あるまちの形成を目指します。



街並み景観の誘導

1 繼続

駅周辺の「杜の都景観重要建造物」の維持・保全が図られるよう支援

2 繼続

北山五山を中心としたガイドボランティアによる案内などの取り組みを支援

地域コミュニティの維持・活性化

3 繼続

一戸建ての持ち家を取得した若年・子育て世帯に対する助成金の交付等により、子育てしやすい良好な住宅への住み替えを支援

※若年・子育て世帯住み替え支援事業は地下鉄沿線以外の地域でも活用できます。詳しくは市ホームページなどでご確認ください。



共同建て替えなどによるまちの再生

9 繼続

「仙台浅草」など地域の風情に配慮しながら、土地所有者等への働きかけや各種制度を活用した支援などにより、共同建て替えや低未利用地の有効活用を誘導

取り組み施策

災害に強い地域づくり

4 繼続

宅地擁壁の専門家派遣制度や安全対策工事に係る助成金制度により、老朽化した宅地擁壁の作り替えを支援

※宅地擁壁の支援制度（専門家派遣制度・安全対策工事に係る助成金制度）は地下鉄沿線以外の地域でも活用できます。詳しくは市ホームページなどでご確認ください。

広域交流の促進

5 繼続

地域のおすすめスポットを紹介した仙山線マップにより、本市と山形市をつなぐJR仙山線の利用を促進し観光振興を図る

誰もが移動しやすい環境づくり

6 長期

県道仙台泉線及び北仙台停車場線について無電柱化を推進

7 長期

仙台市バリアフリー基本構想に基づくバリアフリー環境の充実を検討

駅周辺にふさわしい土地利用や施設立地の誘導

8 繼続

駅周辺の低密度利用となっている地区において、土地所有者等への働きかけや各種制度を活用した支援などにより駅前にふさわしい商業・居住機能等を誘導

11 繼続

商店街の活性化に向けて、商店街が主体となつたイベントなどの取り組みを支援

12 繼続

地域の地理の現状や歴史的知識などをまとめた冊子の作成に向けた町内会の取り組みを支援

- 市が市民の取り組みを支援・誘導する施策
- 市が事業者の取り組みを支援・誘導する施策
- 市が実施・検討する施策

都心地区

将来のまちの姿

杜の都の高次な都市機能と
多様な個性が響き合い、
働く場所、学ぶ・楽しむ場所
として国内外から選ばれる
躍動のまち

仙台駅周辺を中心とする都心機能強化ゾーンで新たな価値や魅力を創出するとともに、働く、学ぶ・楽しむ、そして暮らしをあわせ持つ都心機能強化ゾーンを取り巻く区域における多様な機能の調和を図っていくことで、それぞれが共鳴し合い、価値を高め、新たな賑わいと魅力・活力があふれるまちの形成を目指します。



1

本庁舎建て替えによる
賑わい・交流の創出

2

3

4

5

歩きたくなるまちなかづくり

6

7

8

9

エリアマネジメントに
による取り組み支援

19

20

21

青葉山周辺
エリアとの連携

24

質の高い緑化の誘導

25

26

27

誰もが移動しやすい環境づくり

28

29

地域資源の魅力・価値向上

〔取り組み施策〕

10

広域交通拠点の機能向上

11

12

13

14

15

都市機能の集積・強化

16

17

18

研究・開発施設や企業立地の促進

22

23

広域交流の促進

34

コミュニティの
維持・活性化

35

地域の活性化

36

子育てしやすい環境づくり

30

31

32

33

災害に強い地域づくり

施策 ① ~ ⑯ の内容については本編をご覧ください。

愛宕橋・河原町駅

周辺地区

将来のまちの姿

歴史と自然が薫り、
暮らしと商いが共存
する、魅力あるまち

古くからの住宅地や広瀬川、大年寺山などの豊かな自然が広がり、旧奥州街道沿いには商店街や本市の「杜の都景観重要建造物」などが立地するほか、東北学院大学の新たなキャンパス整備も進んでいくことから、地域や大学、学生が連携した取り組みや地域資源のさらなる魅力創出、既存建築物の共同建て替えなどにより、良好な都市環境の維持・改善を図り、魅力あるまちの形成を目指します。



取り組み施策

景観資源の保全

6

長期

緑豊かな丘陵部を保全するため**大年寺山公園**を整備

7

継続

駅周辺の「杜の都景観重要建造物」の維持・保全が図られるよう支援



災害に強い地域づくり

10

中期

都市計画道路南小泉茂庭線（宮沢橋工区）において**無電柱化**を推進

11

継続

宅地擁壁の専門家派遣制度や安全対策工事に係る助成金制度により、**老朽化した宅地擁壁の作り替え**を支援

※宅地擁壁改修制度（専門家派遣制度・安全対策工事に係る助成金制度）は地下鉄沿線以外の地域でも活用できます。詳しくは市ホームページなどでご確認ください。

12

継続

仙台防災ハザードマップやくらしのマップ、住民説明会の場などを活用し、**防災情報を普及啓発**

コミュニティの維持・活性化

5

継続

一戸建ての持ち家を取得した若年・子育て世帯に対する助成金の交付等により、**子育てしやすい良好な住宅への住み替え**を支援

※若年・子育て世帯住み替え支援事業は地下鉄沿線以外の地域でも活用できます。詳しくは市ホームページなどでご確認ください。

安全安心な交通環境づくり

13

継続

自転車ネットワーク路線において、**自転車通行空間**の整備を検討

公共交通の利用促進

14

継続

大学生の公共交通の利用を促進するため、通学に便利な**大学周辺の交通情報マップ**を提供

地域の活性化

1

短期

東北学院大学五橋キャンパスの開校を契機として、地域や各種団体の連携協力による意見交換会の開催や協働イベントなどの取り組みを支援

2

継続

南木町小学校において、子どもたちに自然とふれあう体験の場を提供する**学校の森づくり**を実施

3

継続

商店街が主体となったイベントなどの取り組みを支援

4

継続

地域団体による、広瀬川緑地を活用した取り組みなど、**地域の賑わい創出**につながる取り組みを支援

共同建て替えなどによるまちの再生

8

継続

建築更新の相談時などにおいて、共同建て替えなどを誘導

9

中期

河原町一丁目2番地区において、商業施設や共同住宅、子育て支援施設などが複合した**共同建て替え（優良建築物等整備事業）**を支援

- 市が市民の取り組みを支援・誘導する施策
- 市が事業者の取り組みを支援・誘導する施策
- 市が実施・検討する施策

9

2023（令和5）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
2026（令和8）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
2030（令和12）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
計画期間中、継続して取り組む施策

長町地区 (広域拠点)

将来のまちの姿

街道筋としての歴史と
多様な都市機能が結
びつき、新たな賑わい
が生まれるまち

歴史ある商店街を含む個性ある市街地について、駅周辺に集積する都市機能や交流の拠点と連携しながら活性化を図っていくことで、互いに高め合い、新たな賑わいと暮らしが生まれるまちの形成を目指します。



1

エリアマネジメント
による取り組み支援

2

商店街の活性化

3

4

地域や大学などとの連携

5

共同建て替えなど
によるまちの再生

取り組み施策

6

駅周辺にふさわしい土地
利用や施設立地の誘導

7

8

9

広域拠点の機能向上

10

質の高い
緑化の誘導

11

安全安心な交通環境づくり

12

誰もが移動しやすい環境づくり

13

14

公共交通の利用促進

15 16 17 18

災害に強い地域づくり

19

20

子育てしやすい環境づくり

21

地域資源の魅力・価値向上

施策 ① ~ ㉑ の内容については本編をご覧ください。

富沢駅

周辺地区

将来のまちの姿

新たな街並みに
健康で快適な暮らしが
広がる、賑わいと笑顔
が溢れるまち

土地区画整理事業により形成された良好な市街地環境を生かしながら、子育てしやすく誰もが心身ともに健康で生き生きと暮らせる環境づくりを進めるとともに、南の起点駅としてふさわしい土地利用や施設立地を誘導することなどにより、暮らしやすく、賑わいにあふれたまちの形成を目指します。



取り組み施策

駅周辺にふさわしい土地利用や
施設立地の誘導

1 継続

土地所有者等への働きかけや各種制度を活用した支援などにより、**低未利用地の有効活用**等を誘導

2 継続

南の起点駅にふさわしい**駅前広場の有効的な活用**について検討

駅周辺の交通環境の改善

3 継続

地域の主要道路や駅につながる道路（市道郡山折立（その2）線、市道富沢山田線）において、**自転車通行空間**の整備を検討

4 継続

熊野宮橋、**杉の下橋**について、架け替えによる拡幅や歩道橋の整備工事を実施

地域コミュニティの維持・活性化

5 継続

土地区画整理事業地内の公園について、子育てや健康づくりなど地域ニーズを踏まえながら整備を進める

6 継続

仙台市体育館については、市民のスポーツ活動の振興に資するサービスを継続的に提供するため、大規模改修を計画的・効率的に実施

地域の活性化

7 継続

商店街が主体となったイベントなどの取り組みを支援



子育てしやすい環境づくり

10 短期

子どもたちが安心・安全に学ぶことができる良好な教育環境をつくるため、**富沢中学校の増築工事**を実施

健康で快適に暮らせる環境づくり

11 継続

仙台市体育館においては、仙台市医師会と連携し、自分に適した運動をスポーツドクターが医学的にアドバイスする**トクターコースプログラムの活用**に取り組む

災害に強い地域づくり

8 継続

都市計画道路郡山折立線において**無電柱化**を推進

9 継続

仙台防災ハザードマップやくらしのマップ、住民説明会の場などを活用し、**防災情報の普及啓発**



市が市民の取り組みを支援・誘導する施策



市が事業者の取り組みを支援・誘導する施策



市が実施・検討する施策



2023（令和5）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策



2026（令和8）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策



2030（令和12）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策

計画期間中、継続して取り組む施策



地下鉄沿線まちづくりの推進プラン 南北線沿線まちづくりプラン 概要版

編集・発行

仙台市都市整備局市街地整備部地下鉄沿線まちづくり課